

平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	新興・再興呼吸器感染症への対策事業費	担当部局庁	国立感染症研究所	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度	担当課室	総務部会計課	課長 星野 真			
会計区分	一般会計	施策名	VI-3-4 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	呼吸器は感染症の侵入門戸となりやすいため、新型の感染症は呼吸器感染症としてみられることが多い。国民の生命を脅かすような呼吸器感染症に常に対応できる体制を構築し維持する必要がある。多くの重篤な呼吸器感染症が既に出現しており、大流行となった場合に備えて、迅速診断法の開発や予防法や治療法開発を行うことを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	2000年以降に新たに発見された、あるいは、地域的アウトブレイクが顕在化した重篤な呼吸器感染症である、ガッティ型クリプトコックス、ヒトメタニューモウイルス、NL63ヒトコロナウイルス、ヒトボカウイルス等のウイルスによる呼吸器感染症を対象として以下を実施する。 (1)平成24年度までに迅速診断法を開発し、その有効性を平成25年度までに評価する。 (2)上記診断法を使用し、平成26年度までに発生動向を調査し、ワクチンや治療法開発の研究を開始する。 (3)平成27年までに地衛研等に上記診断法を普及させる。 (4)公衆衛生的に問題が顕在化した呼吸器感染症が流行すれば、これを優先し、迅速に診断系を構築し地衛研に普及させる。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	/	/	/	14	13
		補正予算	/	/	/	/	/
		繰越し等	/	/	/	/	/
		計	/	/	/	14	13
	執行額	/	/	/	/	/	
執行率 (%)	/	/	/	/	/		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標	/	単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	現在、迅速診断法の開発をおこなっており、定量的な指標は示せない。	成果実績	—	/	/	/	—
		達成度	%	/	/	/	/
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標	/	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	現在、迅速診断法の開発をおこなっており、定量的な指標は示せない。	活動実績 (当初見込み)	—	/	/	/	—
						( — )	( — )
単位当たりコスト	— (円/ )	算出根拠	—				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	備品費	6	0	機器整備を終えた事に伴う減 実地検査増に伴う消耗品費の増			
	消耗品費	4	9				
	賃金	4	4				
計	14	13					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果			
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>本事業は、国民の生命を脅かすような呼吸器感染症に対応できる体制を構築し維持するため、迅速診断法の開発や予防法や治療法開発に必要な経費であり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					